

# 海底下 CCS 実施のための海洋調査事業

(担当：水・大気環境局水環境課海洋環境室)

23年度予算額(案) 2.7億円

## 目的・意義

海洋汚染防止法に基づく海底下地層への二酸化炭素回収・貯留(海底下 CCS)事業の普及と適正な実施のために、日本近海の生態区分と海底下 CCS の実施可能性が高い海域などの条件から代表的な海域を選定し、海洋生態系及び海水の化学的性状を現地調査し把握します。また、海底下 CCS の超長期的な管理体制のあり方についても検討します。

## 事業内容

### (1) 海底下 CCS に係る海洋生態系把握調査

日本近海の生態区分と海底下 CCS の実施可能性が高い海域などの条件から代表的な海域を 5 箇所程度選定し、海水中の浮遊生物や貝類・底生生物などの生態系の把握を行い、同海域での海水の炭酸系指標項目の化学的性状を把握するため、測定センサーの係留による長期的観測や採水調査を行います。



### (2) 海底下 CCS に係る超長期的管理体制のあり方の検討

現行の海洋汚染防止法では期限が定められていない海底下 CCS に係るモニタリング継続年限などの管理体制について、諸外国の海底下 CCS に係る法規制等の情報を収集し、我が国における海底下 CCS の超長期に渡る管理体制のあり方について検討します。

## 委託内容

1. 委託対象者：民間企業
2. 委託内容：海底下 CCS 実施のための海洋調査事業